

<東北地区納税貯蓄組合連合会会長賞>

もう一つの義務

白河市立東中学校 2年 鈴木 愛梨

私達は、「義務教育だから」といって当たり前のように小中学校に通っている。校舎を利用することも無償、机や椅子も無償、そして教科書も全て無償なのだ。これを叶えるためにどれだけのお金がかかっているのだろう。多くのお金が私達の教育を支援するために使われているに違いない。

私達の学校では、『自問清掃』に力を入れて取り組んでいる。「無言清掃」を徹底し、集中力を養う『がまん清掃』最後の一秒まで仕事を見つける『みつけ清掃』友達の清掃場所も手伝う『しんせつ清掃』感謝の気持ちを持って学校をきれいにする『かんしゃ清掃』『学校をきれにしたい』という自分の正直な気持ちで清掃に取り組む『しょうじき清掃』この5つをまとめたのが自問清掃である。これは。主体性・奉仕の心・感謝の気持ちを育むこと、自分の心の尺度に従って自らに問いかけ、考え、決めて行動できる人になること、裏表なく正直に生きることの爽やかさを知ることができる人になることが目的だ。私は、この自問清掃がとても素晴らしいものだと思っている。それは、納税してくださった国民の方々への感謝の気持ちにも繋げることができるからだ。私達が、自問清掃にしっかりと取り組み、きれいな状態の校舎を後輩に受け継いで行くことは、自分達のもう1つの義務なのではないだろうか。

中学生である私は消費税しか納めていない。しかし、大人と同じ分の税金を払うことができないからこそ、今の自分にできることがあると思うのだ。例えば、学校の図書室の本だ。図書室へ行く度に新しい本が並んでいる。私達のために、税金を使用して準備していただいている本を大切に扱うこともその1つだ。他にもできることはたくさんあると思う。私は、これからも自分にできることを積極的に行っていこうと決めた。

私の将来の夢は、税金をしっかりと納めて、国民全員の未来を支えられるような大

人になることだ。自分が払った税金で国民の未来を担って行けていることを実感できる生活は幸せだと思うのだ。そんな大人になれるようにするために、税金の種類や、払った税金がどこで、どのように使われているのかなど今から得ることのできる簡単な知識を定着させていこうと思う。そして、私の納めた税金が、国民の「当たり前」を守る力の一部となり、笑顔で満ちあふれた世の中になることを願って。